



CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

青い羽根募金表彰式

宮崎県漁政対策委員会 第6回委員会、
令和8年度 ロケット打ち上げに関する事前協議

2026年2月末漁業生産統計(属人)

2026年2月漁業生産統計(属人)

2026年2月末の対前年比較属人水揚げ表

MERGER PROPULUTION

組織経営

漁協通常総会・総代会(12月決算組合)

BUSINESS

業務情報

2026年初カツオ到来

防風柵が北浦漁港(市振地区)に設置完了しました!

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

2025年度 第6回正副会長会議、
倫理委員会、第8回理事会

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

令和8年度の水産試験場の新規
研究課題のご紹介 —研究企画—

RELATED ORGANIZATION

関係機関

みやざき県民フォーラムの開催

令和7年度宮崎県立高等水産研修所修業式

宮崎県漁協青壮年部連絡協議会 第1回役員会、
2026年度通常総会及び幹部移動研修会

令和7年度 宮崎県資源管理協議会 第2回通常総会

令和7年度 宮崎県藻場干潟等保全地域協議会
第2回通常総会

3月の動き(漁連関係)



青い羽根募金表彰式



2026年初カツオ到来

青い羽根募金表彰式

宮崎県水難救済会は、3月11日(水)に宮崎市役所危機管理部長室で青い羽根募金に係る表彰式を開催した。

表彰については、5年間で積算して20万円以上の募金をいただいたことにより、表彰状及び有功盾を贈呈することになっており、今回「宮崎市役所」様が表彰に該当したため、表彰式を開催することとなった。



宮崎県漁政対策委員会 第6回委員会

2026年3月5日（木）に宮崎県水産会館4階第1研修室において、宮崎県漁政対策委員会第6回委員会が開催され、下記の事項について協議をおこない、全議案とも異議なく承認された。



第6回漁政対策委員会

協議事項	
①	令和8年度ロケット打ち上げについて
②	その他

令和8年度 ロケット打ち上げに関する事前協議

宮崎県漁政対策委員会は3月5日（木）宮崎県水産会館5階第大研修室において、ロケット打ち上げに関する政府漁対協との事前協議を開催し、下記の事項について協議をおこない、異議なく承認された。



ロケット打ち上げに関する事前協議

協議事項	
①	令和8年度ロケット打ち上げについて

2026年2月末漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき 網	船びき 網	定置	養殖	その他	合計
北浦			5,203 661,199		14 8,958		72 31,316	0 27	4 9,006	5,294 710,506
島浦町		55 61,220	126 13,852	6 4,170			37 18,437	87 104,973	1 1,034	312 203,685
延岡				1 299	3 1,310	31 9,979			1 9,458	35 21,046
延岡市	5 3,631			0 35	4 1,819	28 11,835	124 55,232	1 777	4 5,912	165 79,242
庵川	14 9,268	117 97,754			10 6,059		28 19,414	13 10,229	5 4,841	188 147,564
門川		15 16,708		1 497	6 2,283	19 7,788			5 10,838	46 38,114
日向市	42 27,362	616 588,720		1 257		2 1,274	136 56,234	4 5,179	5 11,753	805 690,779
都農町		84 66,262		1 1,182					5 4,544	90 71,988
川南町		494 491,095		16 13,639					22 20,919	531 525,653
一ツ瀬				0 701	2 589				5 5,356	7 6,646
檣浜				2 2,362					3 3,579	5 5,941
宮崎		88 82,589				62 16,337			8 7,850	159 106,776
宮崎市		24 27,072	449 47,153	5 5,563	51	8 1,375	33 17,961		5 2,709	524 101,883
日南市	46 29,080	345 239,517		8 5,927			24 15,054		21 19,278	444 308,855
南郷	161 86,286	191 89,193		11 11,631			223 75,432		13 14,505	598 277,048
外浦	39 18,027	54 19,139					33 20,344		0 1,064	127 58,573
串間市東		21 22,085		4 7,436			191 75,297		22 8,328	238 113,146
串間市				1 661	1 1,845	1 1,587	0 162	1,645	1 2,968	1,649 1,020,474
合計数量	307	2,105	5,778	55	40	150	902	1,749	130	11,217
〃 金額 （魚価）	173,654 566	1,801,353 856	722,204 125	54,360 995	22,913 574	50,176 334	384,883 427	1,134,435 648	143,944 1,107	4,487,921 400
前年数量	251	1,722	4,748	109	40	85	475	1,985	132	9,546
〃 金額 （魚価）	154,790 616	1,691,860 983	529,408 112	65,394 602	23,273 576	27,996 331	275,234 579	1,174,440 592	147,068 1,117	4,089,461 428
数量増減 〃 対比(%)	56 22.3	383 22.3	1,030 21.7	-54 -49.9	-0 -0.3	65 76.5	427 89.9	-236 -11.9	-2 -1.5	1,671 17.5
金額増減 〃 対比(%)	18,864 12.2	109,493 6.5	192,796 36.4	-11,034 -16.9	-360 -1.5	22,180 79.2	109,649 39.8	-40,005 -3.4	-3,124 -2.1	398,460 9.7
魚価増減 〃 対比(%)	-50 -8.2	-127 -13.0	13 11.6	393 65.4	-2 -0.3	3 1.0	-152 -26.3	56 9.5	-10 -0.9	-28 -6.5

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2026年2月漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき網	船びき 網	定置	養殖	その他	合計
北浦			1,815 203,033		10 6,159		18 12,951	0 27	3 6,779	1,846 228,949
島浦町		39 40,012	34 3,161	4 2,824			18 9,955	45 51,754	0 294	142 108,000
延岡				0 246	1 567				0 3,393	2 4,207
延岡市	1 690			0 24	2 1,065		45 26,063	0 8	2 2,797	49 30,647
庵川	10 6,101	51 37,081			5 3,435		11 7,434	6 4,353	3 2,616	87 61,021
門川		9 8,162		0 281	2 990	3 1,030			3 9,592	18 20,054
日向市	27 16,557	354 333,398		0 21			61 31,451	0 277	3 8,626	445 390,331
都農町		56 39,935		1 714					2 1,623	59 42,272
川南町		258 235,995		9 8,006					9 9,889	276 253,890
一ツ瀬				0 301	1 306				3 3,321	4 3,928
憶浜				1 1,210					2 2,397	3 3,607
宮崎		54 40,175				41 11,129			4 4,285	98 55,589
宮崎市		20 14,501	384 40,381	3 2,825	0 33	8 1,375	16 9,688		0 870	431 69,674
日南市	46 29,080	197 126,588		7 5,190			16 9,321		12 8,929	278 179,109
南郷	161 86,286	108 54,817		8 9,769			141 46,219		6 2,685	425 199,776
外浦	39 18,027	40 10,758					18 10,068		0 206	97 39,059
串間市東		15 13,659		1 1,142			118 45,699		13 5,472	148 65,972
串間市				0 350	1 1,845	1 1,587	0 95	1,451 814,235	1 2,191	1,454 820,304
合計数量	283	1,201	2,234	34	23	52	464	1,502	67	5,861
" 金額 (魚価)	156,741 553	955,080 795	246,576 110	32,904 963	14,401 620	15,121 289	208,946 451	870,653 580	75,966 1,141	2,576,388 440
前年数量	218	747	2,189	32	20	22	199	633	58	4,118
" 金額 (魚価)	131,131 602	845,371 1,132	202,501 93	31,781 984	13,028 660	6,365 284	138,331 697	423,425 669	66,083 1,140	1,858,016 451
数量増減	65	454	45	2	3	30	265	869	9	1,743
" 対比(%)	30.0	60.8	2.0	6.7	16.2	137.9	133.0	137.3	14.8	42.3
金額増減	25,610	109,709	44,075	1,123	1,373	8,756	70,615	447,228	9,883	718,372
" 対比(%)	19.5	13.0	21.8	3.5	10.5	137.6	51.0	105.6	15.0	38.7
魚価増減	-49	-337	17	-21	-40	5	-246	-89	1	-11
" 対比(%)	-8.2	-29.8	18.7	-2.1	-6.1	1.7	-35.4	-13.4	0.1	-2.5

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2026年2月末の対前年比較属人水揚げ表

区分 漁協名	2月末累計			前年同月末との比較					
				昨年同月累計			増減		魚価 対比
	数量	金額	魚価	数量	金額	魚価	数量	金額	
	t	千円	円/kg	t	千円	円/kg	t	千円	%
北浦	5,294	710,506	134	4,569	564,408	124	725	146,098	8.2
島浦町	312	203,685	652	287	199,669	696	25	4,016	-6.3
延岡	35	21,046	602	21	14,654	685	14	6,392	-12.1
延岡市	165	79,242	480	80	36,608	456	85	42,634	5.3
庵川	188	147,564	787	160	134,467	840	28	13,097	-6.4
門川	46	38,114	831	34	27,306	798	12	10,808	4.2
日向市	805	690,779	858	618	638,223	1,033	187	52,556	-16.9
都農町	90	71,988	798	70	60,004	860	20	11,984	-7.2
川南町	531	525,653	990	440	489,719	1,113	91	35,934	-11.0
一ツ瀬	7	6,646	949	10	8,033	828	-3	-1,387	14.7
憶浜	5	5,941	1,218	3	3,461	1,062	2	2,480	14.7
宮崎	159	106,776	673	147	109,045	739	12	-2,269	-9.0
宮崎市	524	101,883	195	213	61,900	291	311	39,983	-33.2
日南市	444	308,855	696	307	269,837	878	137	39,018	-20.7
南郷	598	277,048	463	399	225,991	566	199	51,057	-18.2
外浦	127	58,573	460	120	62,921	526	7	-4,348	-12.6
串間市東	238	113,146	475	186	118,777	640	52	-5,631	-25.7
串間市	1,649	1,020,474	619	1,881	1,064,437	566	-232	-43,963	9.3
合計	11,217	4,487,921	400	9,546	4,089,461	428	1,671	398,460	-6.5

端数処理の関係で、下一桁が合わない部分があります。

漁協通常総会・総代会（12月決算組合）

12月決算組合の通常総会が開催され、令和7年度業務報告及び令和8年度事業計画等の提案議案を審議し承認決定した。組織及び事業概況は次の通り。

	JF 北浦	JF 島浦町	JF 延岡	JF 延岡市	JF 庵川
開催日	3月27日	3月26日	3月31日	3月25日	3月27日
正組合員数	351名	154名	32名	93名	62名
準組合員数	139名	11名	39名	46名	30名
購買事業の取扱高	5億7,234万円	1億8,552万円	3,409万円	6,427万円	1億69万円
販売事業の取扱高	64億461万円	19億3,355万円	1億9,385万円	14億6,279万円	7億8,994万円

	JF 門川	JF 日向市	JF 都農町	JF 川南町	JF 檳浜
開催日	3月27日	3月20日	3月25日	3月28日	3月27日
正組合員数	33名	189名	29名	168名	24名
準組合員数	48名	22名	35名	58名	21名
購買事業の取扱高	5,046万円	3億5,643万円	4,007万円	3億2,751万円	1,320万円
販売事業の取扱高	1億6,801万円	33億6,908万円	2億8,194万円	26億7,990万円	—

	JF 日南市
開催日	3月27日
正組合員数	78名
準組合員数	37名
購買事業の取扱高	5億857万円
販売事業の取扱高	16億4,745万円

2026年初カツオ到来

2026年3月、本県所属の近海カツオ一本釣り漁船が漁獲した初カツオが宮崎中央卸売市場に水揚げされ、競りに付された。

市場では、競り人の威勢のよい掛け声が響く中、仲買人との活発な駆け引きが繰り広げられ、取引は順調に進んだ。

取引された初カツオは、県内量販店への流通をはじめ、県外市場にも出荷され、全国の消費者へ春の味覚を届けた。

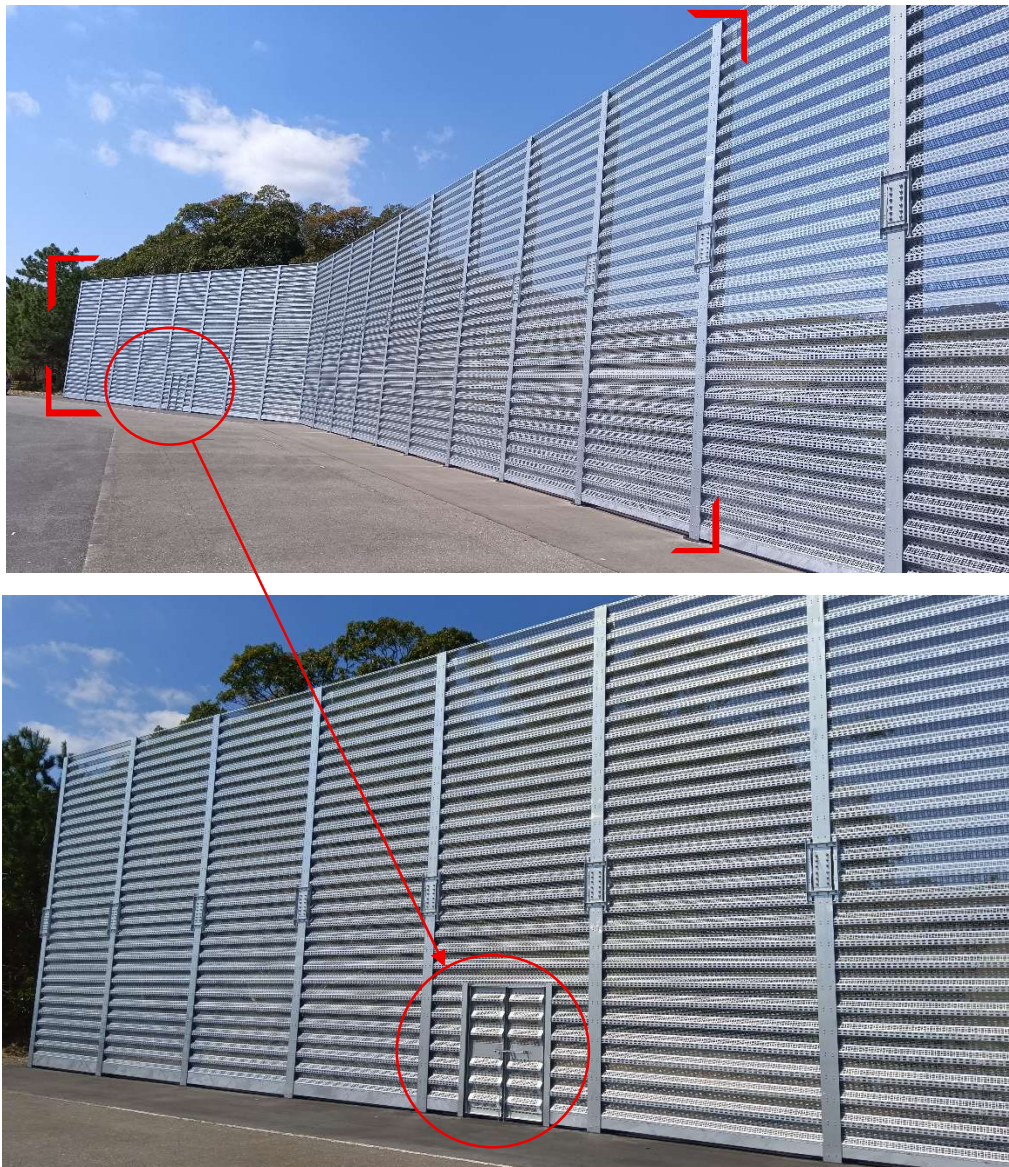


防風柵が北浦漁港（市振地区）に設置完了しました！

係留漁船や港内作業を強風から守る目的で全計画延長のうち、柵高H7.5～7.7m、完成延長51m（防風柵用両開き門扉付き）となります。工区：赤印部分

今回の防風柵設置にあたり、関係各位の皆様には多大なるご協力を頂きました事に改めて感謝申し上げます。

今後とも、お引き立てを賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



このような就労環境設備や漁港基盤設備に関するご相談やご要望に関しましては、宮崎県漁業協同組合連合会・購買事業部まで宜しくお願い致します。

●TEL：0985-28-6111 FAX：0985-22-5759

2025年度第6回正副会長会議

漁連は、3月17日（火）に、2025年度第6回正副会長会議を開催した。

詳細は以下の通り。

■協議事項

- (1) 2025年度事業取扱い及び決算見通しに関する件
- (2) 理事の利益相反に関する件
- (3) 諸規程の一部改正に関する件
- (4) 役員賠償責任保険の加入に関する件
- (5) その他

■報告事項

- (1) 役員改選のスケジュールについて
- (2) 人事異動について
- (3) 2025年度コンプライアンス・プログラムの進捗状況について
- (4) 固定資産の取得について
- (5) 宮崎県漁業販売株式会社の連帯保証人変更手続きの完了について
- (6) 石油類の価格改定について
- (7) イラン情勢悪化に伴う石油類の今後の対応について
- (8) その他

■その他

- (1) 製氷事業の還元について
- (2) 白ナンバートラックの規制強化について

倫理委員会

漁連は、3月18日（水）に、倫理委員会を開催した。

詳細は以下の通り。

■報告事項

- (1) コンプライアンスチェックリスト（アンケート結果）報告について
- (2) 2025年度コンプライアンスプログラムの進捗状況について

■協議事項

- (1) 2026年度コンプライアンス・プログラム（案）
- (2) その他

第8回理事会

漁連は、3月26日（木）に、2025年度第8回理事会を開催した。

詳細は以下の通り。

■協議事項

- (1) 2025年度事業取扱い及び決算見通しに関する件
- (2) 理事の利益相反に関する件
- (3) 諸規程の一部改正に関する件
- (4) 役員賠償責任保険の加入に関する件
- (5) その他

■報告事項

- (1) 役員改選のスケジュールについて
- (2) 人事異動について
- (3) 2025年度コンプライアンス・プログラムの進捗状況について
- (4) 固定資産の取得について
- (5) 宮崎県漁業販売株式会社の連帯保証人変更手続きの完了について
- (6) 石油類の価格改定について
- (7) イラン情勢悪化に伴う石油類の今後の対応について
- (8) その他

令和 8 年度の水産試験場の新規研究課題のご紹介

— 研究企画 —

水産試験場の調査研究について、日頃より皆様方のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。水産試験場では令和 8 年度に 19 の研究課題と 18 のモニタリング調査などに取り組むこととしています。今回は、令和 8 年度からスタートする新規研究課題 5 課題について、ご紹介いたします。

(1) 養殖グリーン化技術開発 (R8~10、増養殖部)

本研究は、次の 2 つの課題に取り組みます。1 つめは、本県の藻場現象の一要因とされる植食性魚類が、イワシ等を原料とする従来の養殖用餌料と栄養面で遜色ないことが明らかとなったことから、養殖魚の成長等の影響の有無について評価を行うと共に、植食性魚類と共に混獲される未利用魚についても、餌料化の検証を行います。

2 つめは、海ぶどうを含めた藻類陸上養殖のコスト削減等の高度化及び、あらたな養殖対象種の検討に取り組めます。

養殖グリーン化技術開発

水産試験場
増養殖部

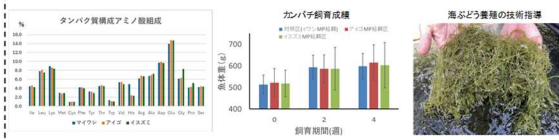
現状と問題点等

『現状』

- ▶ 本県藻場減少の要因とされる植食性魚類は定置網で多く採捕されるが、市場に流通せず再放流されている実態がある。
- ▶ 養殖コストの約 5 割を占める養殖用餌料が著しく高騰している。
- ▶ 県内各地で藻類海面養殖が営まれており、陸上養殖も試験的に開始されている。
- ▶ 藻類養殖はCO₂削減効果も期待されるが、海面養殖では生産量が不安定

『これまでの取組又は成果』

- ▶ 植食性魚類由来養殖飼料を試作、栄養分析及び水槽内で飽食給餌試験を実施した結果、従来餌料と比べても遜色ないと評価
- ▶ 陸上施設を活用した海ぶどう養殖の技術指導を行うとともに、効率的な養殖方法について検討



『問題点』

- ▶ これまで養殖餌料に植食性魚類を利用したことがないため、養殖現場に有用餌料としての認識を浸透させる必要がある。
- ▶ 本県海面での藻類養殖は、生育が難しく生産量が安定せず、存続が危ぶまれている。

試験研究の内容

1. 植食性魚類餌料化実用技術開発

養殖現場において飼育試験を実施し、成長等に影響がないか評価を行う。また、植食性魚類と共に混獲される未利用魚(ギンカガミ等)についても栄養分析等を行い、餌料利用可能か評価する。

2. グリーン養殖技術開発

(1) 藻類完全陸上養殖実証試験

藻類完全陸上養殖の高度化を行うとともに、海ぶどうを含めた藻類養殖の複合化を検討する。

(2) 新規養殖種の基礎研究

トサカノリ、その他新規養殖種の陸上養殖の可能性を評価すると共に、本県技術導入の可能性を検討する。

目指す成果

- ▶ 植食性魚類MP餌料による海面養殖養殖技術の開発
- ▶ 新たな藻類完全陸上養殖技術の開発

アウトカム(研究成果がもたらす効果)

- アウトカム-I 餌料コストの低減による海面養殖業の経営改善
- アウトカム-II 藻類完全陸上養殖普及による新たな産業創出
- アウトカム-III 当該成果普及による沿岸漁業者の収益改善

(2) ブルーカーボンクレジット活用に向けた基礎研究 (R8~12、増養殖部)

地球温暖化対策として注目されるブルーカーボン（海藻など）が吸収・貯留する二酸化炭素量を算定し、その削減効果をクレジット（排出権）として取引するブルーカーボンクレジット制度の活用が進められています。

この制度を活用するためには、大型海藻の種の特定や被度の把握が必要であり、これらについては潜水による目視調査が一般的に行われていますが、多大な労力や潜水事故等の危険が伴います。

このため、ドローンを活用した安全で効率的な藻場把握のための調査手法を確立し、ブルーカーボンクレジット制度の活用を推進します。

ブルーカーボンクレジット活用に向けた基礎研究

水産試験場
増養殖部

現状と問題点等

『現状』

- ▶ 地球温暖化対策の一つとして、ブルーカーボンが注目されており、本県でも当該クレジット制度の活用が注目されている。
- ▶ 制度活用には大型海藻種の特定や被度等の把握、藻場面積測定といった調査が必要であるが、潜水目視が一般的
- ▶ 他県で潜水による事故が発生しており、安全でかつ調査員の技能に大きく依存しない調査技術の開発が必要

『これまでの取組又は成果』

- ▶ 空中ドローンで得られた画像を用いた藻場面積測定技術を開発し、技術マニュアルを現場に普及した。
- ▶ 水中ドローンで得られた画像及び動画から、藻場種類の特定を試み、潜水目視と同等の精度であることが確認された。

潜水目視(左図)と空中ドローン画像(右図)による藻場面積測定結果の比較

水中ドローンで得られた藻場画像



『問題点』

- ▶ 複数の海藻が混在する藻場においての海藻種の判別や被度把握といった潜水目視と同等精度の技術開発が必要
- ▶ 潜水目視と比較して把握にかかる日数や労力、経費の検証が必要

試験研究の内容

効率的な県内主要藻場可視化技術開発

県内の主要藻場の分布把握をドローンを活用して行い、把握にかかる日数及び労力を検証し、県内主要大型海藻の判別が可能か評価する。
また外部委託により実施している県内藻場分布調査への代替手段としての可能性を評価する。

目指す成果

- ▶ 潜水藻場調査に替わるドローンモニタリング手法の開発

アウトカム(研究成果がもたらす効果)

アウトカム-I 藻場調査の省コスト化や安全性向上

アウトカム-II ブルーカーボンクレジット制度活用による藻場保全活動の活性化と新たな産業創出

(3) 温暖化による本県沿岸漁業への影響の可視化 (R8、経営流通部)

近年、長期的な海水温上昇などの環境変化が顕著化したことで、海洋生物の分布状況や養殖魚の生育状況に変化が生じています。本県では、シラスの長期的な不漁やブリの定置網への入網が遅れるなど、漁業経営への影響が懸念されています。そこで、本研究課題では、これまでに蓄積した漁海況データから、沿岸海況環境や沿岸漁業の漁獲組成の長期的変化を把握し、気候変動に対応した持続可能な水産業を推進する施策及び技術開発を目指します。

温暖化による本県沿岸漁業への影響の可視化

水産試験場
経営流通部

現状と問題点等

『現状』

- ▶ 長期的な海水温上昇などの環境変化が顕著化し、海洋生物の分布状況や養殖魚の生育状況も変化
- ▶ 本県の生産量は平成2年をピークに減少
- ▶ 本県漁業事業者は、1,996人(R5漁業センサス)で、前回(H30)より206人(9%)減少。特に沿岸漁業経営体の減少が顕著

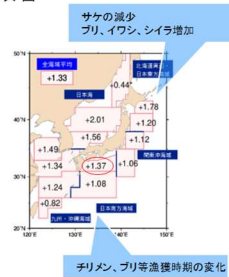


図1 日本近海の海域平均海面水温の上昇率(°C/100年)

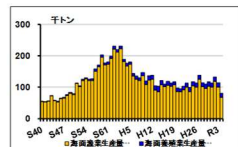


図2 海面漁業・養殖業生産量の推移

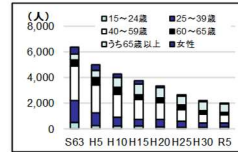


図3 漁業事業者数の推移

『問題点』

- ▶ 海水温上昇等の環境変化に対応し、少ない漁業者でも生産量を確保する対応が必要
- ▶ これまで、環境変化の観点から本県水産業の現状把握、影響評価、将来予測、対応技術開発への取組は断片的

試験研究の内容

1. 海洋環境の変遷把握

過去の沿岸海洋観測データ等を活用して長期的な海況の変遷を把握し、可視化する。

2. 漁獲組成の変遷把握

(1) 漁獲組成分析

過去の沿岸漁業種類の漁獲組成を分析し、魚種別生産量及び漁業種類の長期的な変遷を把握する。

(2) 分布・回遊の変化分析

近隣海域の魚種組成と併せ主要魚種の分布・回遊の変化を確認し、その特徴を検討する。

目指す成果

- ▶ 沿岸海洋環境の長期的変化の可視化
- ▶ 沿岸漁業の漁獲組成の長期的変化と特徴を把握

アウトカム(研究成果がもたらす効果)

- アウトカム-I 環境変化に伴う漁獲物の将来予測
- アウトカム-II 環境変化に対応した漁業の推進
- アウトカム-III 持続可能な水産業の実現

(4) 環境DNAによるかつお・まぐろ漁業の漁場選択技術の高度化 (R8~12、経営流通部)

本県の基幹漁業であるかつお・まぐろ漁業は、船体の老朽化や操業コストの不安定化等により、厳しい経営状態が続いています。さらに、国際的な漁獲競争が激化する中で、かつお・まぐろの我が国周辺への来遊状況が不安定な状況です。これまでに、小規模な漁場形成を的確に把握するための技術として、環境DNAによる操業支援調査技術の開発を進め、かつお一本釣漁業の収益性向上を目指してきました。今後、さらなる本技術の精度向上及び効率化を図るとともに、まぐろはえ縄漁業への応用に取り組みます。

なお、本研究課題はこれまでの業績により「令和7年度 全国水産試験場長会 会長賞」を受賞しました。

環境DNAによるかつお・まぐろ漁業の漁場選択技術の高度化

水産試験場
経営流通部

現状と問題点等

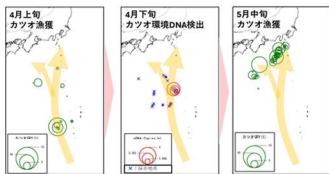
『現状』

- かつお・まぐろ漁業は本県漁業生産額の60%超を占める基幹漁業
- 船体の老朽化、操業コストの不安定化等で厳しい経営状況となっている。
- 資源来遊状況の不安定化が拡大し、安定的な収益性の確保が困難
- 操業の効率化による収益性の確保が必要



『これまでの取組又は成果』

- みやざき丸による船上での環境DNA分析体制を確立
- 漁場予測ソフトやみやざき丸探索機器を活用したかつお一本釣漁場探索と、リアルタイム情報発信を実践化
- 高度回遊性魚類の回遊状況を環境DNAで捕捉することに成功
- 環境DNAによる操業支援調査技術を開発し実践を開始



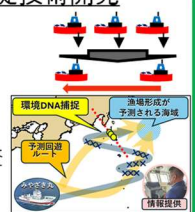
『問題点』

- 外洋域での環境DNAによる調査技術は、現状では調査可能範囲が限定的であり、確実性が低い。
- 基幹漁業の一つであるまぐろはえ縄漁業に対する操業支援技術が未開発

試験研究の内容

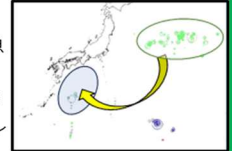
1. 高度回遊性魚類の環境DNAによる効率的捕捉技術開発

- (1) 外洋域における環境DNA調査技術の最適化
外洋域での調査技術を最適化するため、環境要因の影響把握や、吸着素材を用いた地点間を集約するサンプリング手法(パンプサンプリング手法)を開発する。
- (2) ピンナガ来遊把握技術の高精度化
上記開発技術を投入し、高精度化した操業支援調査技術を開発する。



2. まぐろはえ縄漁業における漁場形成把握技術の開発

- (1) マグロ属魚類の環境DNAの調査手法の最適化
マグロ属魚類のDNAを正確に判定する手法や、魚群把握技術を開発する。
- (2) 環境DNAによるマグロはえ縄漁場把握技術の開発
まぐろはえ縄漁業の魚種・漁場転換をターゲットとした、環境DNAによる操業支援技術を開発する。



目指す成果

- かつお一本釣漁業への操業支援調査技術を高精度化
- まぐろはえ縄漁業への操業支援調査技術を開発

アウトカム(研究成果がもたらす効果)

- アウトカム-I かつお一本釣漁業の収益性向上
- アウトカム-II まぐろはえ縄漁業の収益性向上
- アウトカム-III 環境DNA調査技術の資源調査等への展開

(5) 環境 DNA による内水面生態系の効率的調査手法の開発 (R8~12、増養殖部)

本県の内水面資源の適切な管理や効果的な増殖活動の推進を目的に、水産資源の科学的、客観的な状況の把握が求められています。そこで、本研究では、環境 DNA 分析技術等の活用による生物量の定量化技術の確立と、環境 DNA 調査のサンプリング法のマニュアル化による内水面生態系の監視体制の確立に取り組みます。今後、これらの技術やマニュアルの活用により、コウライオヤニラミを含む外来種の分布調査なども実施し、効果的な内水面資源の維持・保全活動の普及促進を目指します。

環境DNAによる内水面生態系の効率的調査手法の開発

内水面支場

現状と問題点等

『現状』

- ▶ 内水面資源の適切な管理、効果的な増殖の推進に向けて環境DNA分析等を活用した水産資源の状況把握が求められている。
- ▶ H29年に萩原川で生息が確認されたコウライオヤニラミについて、R6年に京大等研究グループによる環境DNA技術を活用した調査により、大淀川水系内での分布拡大が確認された。

『これまでの取組又は成果』

- ▶ 県内河川で環境DNA調査（MiFish法、MiDeca法）と採捕調査をR3年から実施しており、環境DNA調査と採捕調査の結果を比較すると、環境DNA調査の方が簡便且つ、最大で3.6倍多く検出できたため、河川の生物相を把握する手法として有効と考えられた。

- ▶ コウライオヤニラミについては、年間を通じたサンプリングにより繁殖期や食性等を明らかにした。



『問題点』

- ▶ MiFish法、MiDeca法では河川に生息する生物の種類は検出できたが、量的情報を得ることができない。
- ▶ 外来魚の分布拡大、新たな外来種の侵入等により内水面資源への影響が危惧されるため継続的な監視が必要である。

試験研究の内容

1. 環境DNAの定量化技術（qMiFish法）の確立

- 調査河川として小規模河川を一つ選定し、環境DNA定量調査（qMiFish法）と採捕調査の結果を比較・検証することで、qMiFish法の有効性を明らかにし、本県河川における定量化技術を確立する。

2. 内水面生態系の監視手法の確立

- モデル河川において、淡水域でのサンプリング地点の選定やろ過方法の改良により、これまでの結果の精度を保ったまま効率的なサンプリング方法を確立し、調査や分析の省力化を図る



- マニュアルを基に県内河川を環境DNA分析（MiFish法）によって広域的に調査を行う。調査によって生物相を把握し、外来魚の分布調査など内水面生態系の監視体制を確立する。

目指す成果

- ▶ qMiFish法による内水面資源の定量化技術の開発
- ▶ 省力かつ精度の高い内水面生態系監視手法の開発

アウトカム(研究成果がもたらす効果)

効果的な内水面資源の維持・保全活動の普及促進

以上が令和 8 年度から取り組む新規研究課題です。水産試験場では、これらの新規課題研究のほか、前年度以前からの継続課題や赤潮、水質環境保全のためのモニタリング調査等に取り組んでいます。更に、試験販売用の水産加工品の製造が可能な「水産物加工指導センター」、魚病の診断や養殖場の巡回指導、ワクチン講習会などの魚病対策指導を担う「魚病指導総合センター」を運営し、本県水産業を積極的に支援しています。

今後とも、水産業に従事される皆様の要望に応えるために技術開発や情報提供を行い、本県水産業の発展に尽力してまいります。

宮崎県水産試験場のホームページ (<https://www.mz-suishi.jp/>) では、これまでの研究成果の公開だけでなく、水産物加工相談 (<https://www.mz-suishi.jp/introduction/09.html>) や施設見学 (<https://www.mz-suishi.jp/introduction/08.html>) を受け付けています。ぜひご覧ください。

みやざき県民フォーラムの開催

3月7日（土）に、J Aアズム大ホールにて、みやざき県民フォーラムが開催され、主催者側の一員として本会の是澤会長が出席した。

今回のフォーラムでは、約350名の来場があり、協同組合に対する関心と理解を深めるものとなった。詳細は以下の通り。

1. 主催者挨拶
2. 講演
 - (1) 基調講演「令和のコメ騒動を振り返る」（茨城大学）
 - (2) 県内各団体講演
 - 「生産者の立場」（宮崎県農協青年組織協議会）
 - 「販売者の立場」（J Aみやざき穀物特産推進部）
 - 「消費者の立場」（コープみやざき商品本部）
3. パネルディスカッション
4. 宮崎県フードバンクへのお米贈呈式

【みやざき県民フォーラムの会場の様子】



【宮崎県フードバンクへのお米贈呈式の様子】



令和7年度宮崎県立高等水産研修所修業式

3月7日（土）に、宮崎県立高等水産研修所（日南市）にて、令和7年度修業式が開催された。

本年度は8名の生徒が修業し、県内のかつお船を始め、まぐろ船や養殖業者への就業が決定している。

本県でも、高齢化や担い手不足による後継者問題が深刻な状況となっている中、本研修所で習得できる高度な技術や知識は、本県水産業の振興、発展のために重要な役割を担っている。

本研修所を通して、将来、県内に一人でも多くの漁業者が就業することを期待したい。



宮崎県漁協青壮年部連絡協議会

第1回役員会、2026年度通常総会及び

幹部移動研修会

第1回役員会

宮崎県漁協青壮年部連絡協議会は3月6日(金)に水産会館4階第一研修室にて第1回役員会を開催した。

協議事項は以下の通りであり、総会の提出議案について協議をおこなった。

(1) 2026年度通常総会提出議案について

- ① 2025年度事業報告書及び収支決算書について
- ② 2026年度事業計画書及び収支予算書(案)について
- ③ 2026年度会費の額及び徴収方法(案)について
- ④ 役員改選(案)について

(2) その他



2026年度通常総会

第1回役員会終了後には5階大研修室にて、2026年度通常総会を開催した。協議内容は役員会と同様であり、以下の通り協議をおこなった。

(1)

- ① 2025年度事業報告書及び収支決算書について
- ② 2026年度事業計画書及び収支予算書（案）について
- ③ 2026年度会費の額及び徴収方法（案）について
- ④ 役員改選（案）について

(2) その他



幹部移動研修会

2026年度通常総会終了後には、幹部移動研修会を開催した。研修内容は以下の通り。

1 水産多面的機能発揮対策について

講師：宮崎県農政水産部水産局漁業管理課資源管理担当 主幹 長野 昌子
技師 那須 春香

2 水産業のスマート化推進に関する勉強会

(1) 変化にどう対応するか～海と社会、漁業～

講師 一般社団法人マリノフォーラム21 会長 廣野 淳

(2) スマート機器導入事例紹介

①スマート水産機器（漁船漁業）の導入事例

鹿児島県甕島漁業協同組合連合

鹿児島県北薩地域復興局林務水産課

理事・指導漁業士 宮 国友

技術主任 塩先 尊志

②ICT 観測ブイ

富山県新湊漁業協同組合

副組合長 鷺北 英司

3 スマート機器展示（会場後方）

カラービデオプロッター、定置網モニタリングシステム

古野電気株式会社



令和7年度 宮崎県資源管理協議会 第2回通常総会

宮崎県資源管理協議会は3月24日(火)に水産会館4階第1研修室にて第2回通常総会を開催した。
協議事項は以下の通り。

1. 開会

2. 議事

第1号議案 令和7年度事業実績及び収支実績(案)について

第2号起案 令和8年度事業計画及び収支予算(案)について

第3号議案 資源管理計画の履行確認の認定について

第4号議案 資源管理協定の変更について

その他

宮崎県において資源管理を行うための方針の変更について

3. 閉会

令和7年度宮崎県藻場干潟等保全地域協議会

第2回通常総会

宮崎県藻場干潟等保全地域協議会は3月24日(火)に水産会館4階第1研修室にて第2回通常総会を開催した。

協議事項は以下の通り。

【議案】

- 第1号議案 令和8年度事業の採択について
- 第2号起案 令和8年度事業計画及び収支予算について
- 第3号議案 地域協議会事務の一部委託について
- 第4号議案 「水産多面的機能発揮対策事業に係る各種単価の取扱」について
- 第5号議案 宮崎県藻場干潟等保全地域協議会の役員選任について
- その他



3月の動き（漁連関係）

5日	第6回宮崎県漁政対策委員会、ロケット事前協議
7日	宮崎県立高等水産研究所終業式
7日	みやざき県民フォーラム
6日	宮崎県漁協青壮年部連絡協議会 第1回役員会・2026年度通常総会・幹部移動研修会
17日	第6回正副会長会議
18日	倫理委員会
24日	宮崎県資源管理協議会第2回通常総会
24日	宮崎県場干潟等保全地域協議会第2回通常総会
26日	第8回理事会